

緑が丘

学校教育目標
自ら考え
正しい行動のできる
心豊かな生徒の育成

緑が丘中学校
学校通信 No.13
2022年3月1日



「伸びやかに、広い世界に羽ばたいて」

校長 野口博史

弥生三月の春景色は、はるか遠い雲の行き交いにも、小川の水の流れにも、その伸びやかさに心が安らぐ思いがします。また、明るい光を受けると、何とはなしに体の底から力が湧き出てくるのを感じます。

思い起こせば、この1年も新型コロナウイルスが猛威をふるい、学校の教育活動は多くの制約を受けました。それでも、本校の生徒たちはいつもその中に楽しみや充実感を見出し、不満を言わず「楽しかった」と言ってくれたことが私たち職員心の救いとなりました。本当にありがたいことでした。

さて、私事で大変恐縮ですが、この3月をもって本校で退職を迎えます。実はこの緑が丘中学校は、私が数学の教員として初任で着任した学校でもあります。初任の年である昭和59年といえば、新札が発行された年でした。お金の代名詞であった聖徳太子が福沢諭吉に変わり、お札が一回り小さくなったことを覚えています。そのお札も、また、2024年から新デザインとなるようですが。

当時、1年生を担当しており、数学以外に体育も担当していた私は、放課後は先輩の体育教師に付き合ってもらい、器械体操や球技を練習していました。授業準備といえば数学の記憶は全くなく、覚えているのは体育のことばかりというのは、それだけ必死だったということでしょうか。

4年前に本校に校長として着任した時、その頃の卒業生に保護者として声をかけてもらうことができました。「先生の人とは違うものの見方が心に残っていて結構影響を受けたんですよ」、(少し恥ずかしいですが)「数学の授業はいつもパチンコの話で始まってましたね」「バレンタインにチョコレートあげたの覚えますか？」など。卒業生との飾らない会話の中には、学校経営に大いに参考になる気づきもありました。そして今、西宮出身の私が、三木の地でお世話になり、初任でスタートした学校で退職を迎えられることには、万感の思いがあります。

本校の卒業生には、「人との接触8割削減、感染に歯止めを」と呼びかけた北海道大学の西浦博教授(現在は京都大学)や、先日の東京オリンピックに出場した山本俊樹選手など、世界で活躍する人材が巣立っています。

生徒の皆さんは、「夢」を持っているのでしょうか。「そんな夢みたいな…」と、人が真剣に取り合ってくれないものの中に、実はものすごいお宝が埋まっていたりします。大きな「夢」を持って緑が丘中学校を巣立ち、広い世界に羽ばたいてください。頑張りすぎず、あきらめず。皆さんの活躍を心から応援しています。

《生徒会専門委員会》



【生活環境委員会】 【図書委員会】

2月4日の生徒会専門部会のような予定です。2月の活動目標の連絡や、各委員会で作業を行いました。

《生徒朝会》



2月7日の全校朝会のような予定です。新生徒会もリモートでの朝会を準備、進行しています。

《1年生学年百人一首大会》



2月7日に1年生が学年百人一首大会を行いました。換気をしながら、一首ごとに白熱した大会になりました。

《2年生紙ヒコーキ飛ばし大会》



2月3日に2年生が紙ヒコーキ大会を行いました。飛ばすのが意外と難しかったですが、みんなで楽しみました。

《2年生カウントダウン掲示》



生徒会と1・2年生で、3年生の卒業に向けてカウントダウン表示を行っています。卒業生へのメッセージの掲示です。

3月 学校行事予定表

日	曜	学校行事	PTAその他	給食
1	火			○
2	水	1・2年学年末テスト		○ 1・2年 ×
3	木	1・2年学年末テスト		○ 1・2年 ×
4	金	1・2年学年末テスト 予餞会		○
5	土			
6	日			
7	月			○
8	火			○
9	水			○
10	木			○
11	金	公立高校入試		○ 3年×
12	土	新入生制服等引き渡し10:00~11:00昇降口		
13	日			
14	月			○
15	火	式予行・準備		○ 3年×
16	水	第46回卒業式		×
17	木			○
18	金			○
19	土			
20	日			
21	月	(祝)春分の日		
22	火			弁当
23	水			×
24	木	休業式		×
25	金	年度末・年度始休業日(春休み)~4月6日		
26	土			
27	日			
28	月			
29	火			
30	水			
31	木			